



## 施工法

### ーハンドミキサーで混練りする場合ー

#### 使用機械・器具について

- 混練りにはハンドミキサー(1000rpm以上の高速型、H型羽根)あるいは専用のグラウトミキサーを使用して下さい。  
その他、水・バケツ・圧送ポンプなどを用意して下さい。
- アルミ製の回転翼は、異常膨張の原因となりますので、使用しないで下さい。

#### 〔練り混ぜ方法〕

通常の使用では、本製品1袋に対して、水4.0kgを標準としてください。

容器に水全量を投入し、ハンドミキサーで攪拌しながら、材料を少しずつ投入してください。全量投入後2分間攪拌し、J<sub>14</sub>ロート8±2秒を確認してください。所定の流動性が得られない場合は、水量3.8～4.2kg/袋の範囲で水量を調整して決定してください。水量が決まれば2回目以降は、その水量で施工を行ってください。

本製品を3Q工法シリーズに使用する場合は、モルタルフロー35±3cm(フローコーン上径50mm、下径100mm、高さ150mm)を確認してください。所定の流動性を得るために、水量を3.8～4.2kg/袋の範囲で調整し、それでも38cmを超える場合は、施工性に問題が無いことを確認の上、3.6kg/袋まで減じて調整してください。

使用水量の上限は4.2kg/袋を厳守してください。

使用水量は、環境条件や使用機械によって変化する場合がありますので、事前に試験練りを行なって適的な水量を確認してください。

#### 標準調合

オーケイグラウト	目標軟度	使用水量 (1袋当たり)	使用水量 (1m <sup>3</sup> 当たり)	1m <sup>3</sup> 当たりの 使用量
通常	J <sub>14</sub> ロート	3.8kg	285ℓ	75袋
	8±2秒	4.2kg	315ℓ	
3Q工法	スランプフロー	3.6kg	270ℓ	75袋
	35±3cm	4.2kg	315ℓ	

#### 使用上の注意点

- 気温・水温が8℃未満又は35℃を超える場合は、水温の調整や適切な養生を行うなどの対策を講じる必要があります。

#### スランプフロー

コーン形状  
上径 50mm  
下径 100mm  
高さ 150mm



スランプフロー試験

## 昭和電工建材株式会社

■ 本社・建設資材営業部  
〒221-0024  
横浜市神奈川区恵比須町2-1  
TEL (045) 444-1691  
FAX (045) 444-1699  
<http://www.sdk.co.jp/kenzai/>

■ 仙台営業所  
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代3-2-14  
■ 名古屋営業所  
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26  
■ 大阪営業所  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-5-3  
福岡営業所  
〒812-0025 福岡市博多区店屋町5-22

TEL (022) 236-7108 FAX (022) 283-0694  
TEL (052) 218-8085 FAX (052) 202-1202  
TEL (06) 6100-2202 FAX (06) 6100-1232  
TEL (092) 281-9881 FAX (092) 281-9505